



↓世界遺産、首里城から眼下の景色を望む。



→ 中城城址を見学、これも世界遺産。



だと、自らに言い聞かせながら各集会に臨んでいる▼思いがけず、おほめの言葉をいただいたり、わたしの人生訓（5月号の広報紙に掲載された）を引き合いに出して、激励をいただくこともある。そんな時は、本当にうれしく思うと同時に、さらに頑張ろうという気持ちになり、ささやかながら自己満足に浸る一瞬もある。これからも、心をこめて地域を訪ね、お互の琴線が共鳴できればと思つてゐる。

福智の翼、ちゅう 美ら島へ。

「城」の付く名前が縁で絆を深めてきた
旧方城町と中城村。子どもたちが交互に訪
問し交流する事業「少年の翼」の歴史は13
年にもおよぶ。そして今年、その翼は福智
町に受け継がれた。8月19日、福智町内4
校の5・6年生23人が福岡を発った。空路
で沖縄に降り立ち、中城村に入る。初日か
ら村あげての歓迎を受け、現地の子どもた
ちと交流。心の距離は一気に近づいた。翌
日は、中城子ども会と沖縄の名所巡り。最
終日の21日は、大戦の激戦地跡に戦争の
悲痛を肌で学んだ。自然豊かな中城村での
ホームステイを終え、帰途についた子ども
たちの胸は、中城村への感謝と平和の尊さ、
そして、故郷への愛情でいっぱいだった。



† 美ら海水族館ではジンベイザメに会った。



町長口説

▼町内の各地域に

2泊3日で中城村と交流した福智の子どもたち、平和と琉球文化を学んだ。中城から那覇市までは車でおよそ1時間。町章付きの赤い帽子が、首里城に似合う。

2泊3日で中城村と交流した福智の子どもたち、平和と琉球文化を学んだ。中城から那覇市までは車でおよそ1時間。町章付きの赤い帽子が、首里城に似合う。

▼町内の各地域に
出向いてのタウン
ミーティングも、残
り16地区となつた。
おかげさまで、これまで実施した集会
には多くのかたにご参加をいただき、
いろんなご意見や思いを頂戴した▼今